

ラジオセラノスティクスの現状と展望 3回シリーズ

第1回

ラジオリガンド療法

2023 7/5 水

17:00 ▶ 18:15



稲木 杏吏

国立がん研究センター
先端医療開発センター 機能診断開発分野



渡部 直史

大阪大学大学院 医学系研究科
放射線統合医学講座 核医学

核医学治療 (ラジオリガンド療法) の概要

放射性同位元素を使用した核医学治療 (ラジオリガンド療法) は、長らく分化型甲状腺癌に対するNa131I治療が大半でしたが、近年、177Lu-DOTA-TATE、131I-MIBG等のβ線放出核種を用いた放射線治療薬が製造販売承認され、海外では177Lu-PSMAがFDA承認されるなど、大きな広がりを見せています。本講演では、核医学治療 (ラジオリガンド療法) の概要及び今後の展開についてご紹介します。

標的アルファ線治療の今後

標的アルファ線治療ではα線核種で標識されたがん標的薬を投与することで、全身のがん病変に対する治療を行う。α線は効率的にDNA二重鎖切断を誘導し、従来のβ線治療が効かない症例でも治療効果が期待できる。世界ではアクチニウム(²²⁵Ac)を用いた治療薬開発が盛んであるが、日本はアスタチン(²¹¹At)を用いた研究で世界をリードしており、阪大では医師主導治験が実施されている。本セミナーでは標的α線治療の現状と今後の展望について、お話ししたい。

参加登録はこちら!

<https://us02web.zoom.us/join/join?meetingref=1234567890>

登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。



第2回

放射線薬学 化学

9/6 水
17:00-18:15

小川 数馬 金沢大学 新学術創成研究機構 創薬分子プローブ研究ユニット
鷺山 幸信 福島県立医科大学 ふくしま国際医療科学センター 先端臨床研究センター

第3回

医用放射性同位元素の国内製造

10/4 水
17:00-18:15

菊永 英寿 東北大学 電子光物理学研究センター 光子量子反応研究部
高木 直行 東京都市大学 理工学部 原子力安全工学科 原子力システム研究室